



# 連町通信

安全で安心して暮らせるまちづくりをめざして

発行  
釧路市連合町内会

☎085-8505 釧路市黒金町7丁目5番地  
釧路市役所内  
電話 0154-23-5151  
内線 6716  
直通電話・Fax 0154-23-2101

## 平成27年度地域ふくしフォーラム 開催 ～～ 子どもたちの貧困を防ごう ～～

市連町・市社協・民児協の三者連携で開催する、地域ふくしフォーラムが2月3日交流プラザさいわいで開催され、約110名が参加しました。

今回のテーマは「子どもの貧困～地域に求められる気づきと支援とは」と題し、児童養護施設札幌南藻園大場信一園長の講演をいただきました。



大場信一園長

大場園長は道職員として釧路児童相談所長も経験され、釧路の子どもたちの家庭環境に精通されています。

講演では、「子どもの貧困は、厳しい経済状況の家庭環境や親の虐待で陥

ることが多く、子どもの1/6が貧困状況と云われている。」と現状について触れた。

また「お金がないことから社会的排除に陥り子どもの仲間外れや、子どもの服装にも影響する。子どもたちの貧困は、学力・健康・子育て環境・虐待・非行・疎外感等へも影響し、貧困の連鎖に陥る。日本の母子家庭の就業率は高いが貧困率も高い」と説明。

児童養護施設へ入所した子どもには、施設で初めて誕生ケーキを見て食べられなかったり、三食食べられることに感動する子どもがいる実例を紹介した。



支援の実態は、援助の対象として認識されていない状況があるのでは、また大きな格差社会、格差を縮小しようとする社会の姿勢が必要と分析していました。

子どもの貧困への気づきは、子どもの立場になって、①子どもに必要な衣食住が与えられているか、②健康と安全が脅かされていないか、③精神的な危機にさらされていないか、④保護者から安全・安心感が奪われていないか、等を認識して欲しい。

一人の子ども・親への支援は、連携・協働し、観察～観て察することからスタートする。声を出して言葉にすることから発見・支援が始まる。難しく考えないで自分に出来ることを皆で考えて欲しい。

「釧路には生活貧困者支援の土壌があり、出来ることで動きを進めて欲しい」と締めくくった。会場からは大変参考になったとの感想が多かった。

## 防災ワンデー釧路防災講演会2016 東日本大震災から減災意識を学ぶ！！

釧路沖地震の記憶を忘れないため、関係団体で毎年実施している「釧路防災講演会 2016」が、1月17日アクア・ベールで約250名が参加し開催されました。

基調講演は、「東日本大震災から見えてくる減災意識啓発のあり方」と題し、東北大学災害科学国際研究所助手保田真理氏が講演しました。



講演する保田真理氏

保田氏は、「津波の際は自分だけは大丈夫の意識が被害を大きくする。被害を想定し、日頃から対策や訓練が大切。忘れた頃にやって来る災害に、必ず避難して自分の命を

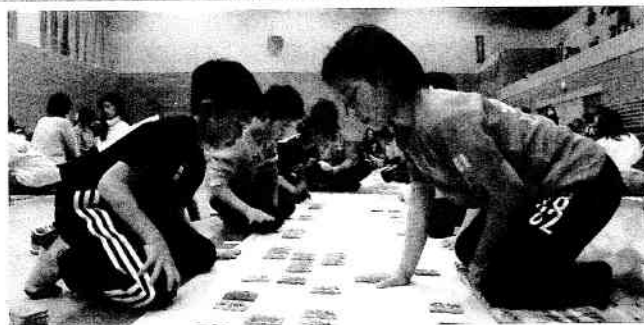


守る行動を起こして欲しい」と訴えました。

パネルディスカッションは、北海道大学地震火山研究センター西村裕一教授、保田氏、釧路市防災危機管理監佐々木信裕氏、釧路市連合防災推進協議会土岐政人会長が参加。避難意識の大切さ、避難路の確認、家庭の備えの課題が話された。道教育大釧路校学生の意見交換では、「子ども達に、災害について一緒に考えて欲しい」と提案された。

### == 創立50周年記念 第41回釧路市連合町内会子どもかるた大会 == かるた道精神 あきらめない心で

創立50周年記念第41回釧路市連合町内会子どもかるた大会が、2月28日（日）、湿原の風アリーナ釧路で開催され、89チーム279名が参加しました。



選手宣誓は阿寒湖小学校「湖水魂」チーム、あきらめずに戦い抜くと宣誓しました。

多くの父母が見守る中、選手達は励まし合い、真剣な表情で木札を追っていました。

#### 成績表（所属・チーム名）2016

	小学生低学年の部	小学生中学年の部	小学生高学年の部	中学・高校生の部
優勝	光陽 風光	新陽 海王	teamひやっくー team蒼昊	阿寒こども 龍王の雅
準優勝	愛国 あいこく外山の	松浦 虎松	阿寒こども 阿寒の星	阿寒こども 阿寒の龍王
第3位	桜ヶ岡 小桜	新陽 海月	鳥取西 Green	
第4位	阿寒湖小 雪ん子	新陽 海龍	阿寒湖小 湖水魂	

## 平成28年 釧路市連合町内会新年交礼会 開催 若年世代の育成をめざして

恒例の市連町新年交礼会が1月15日、釧路センチュリーキャッスルホテルで開催され、来賓・会員約200名が参加しました。

花柳寿芳貴様による祝舞の後、西村会長は、「創立50周年記念事業のお礼、若い世代が中心となり3町内会が新設された。世代間の交流を通して、町内会への関心や理解を深め、次世代への継続のため若年世代の育成を重視して取り組み、今後も安全安心なまちづくりのため努力したい」と挨拶。



蝦名市長は、「人口減少社会の中でしっかりとまちづくりを進め、地域が守る風土を養って行きたい。連合町内会と連携をとりながら輝けるまちにしたい」と挨拶。

その後、月田光明市議会議長の乾杯の音頭で開宴、和やかな懇談の中、お楽しみの大抽選会が行われ、90点余もの景品に参加者は、抽選の度に一喜一憂していました。

来年も楽しみにする声も多く、其々交礼会を楽しんでいました。



西村会長



蝦名市長

わが街この街  
シリーズ 64

### ～～ 向こう三軒両隣を大切に ～～

富士見第一親交会 会長 今村 壯夫

私たちの住んでいる「富士見第一親交会」は、昭和36年に町内街灯の設置・整備に伴い町民有志の方々の発案により発足したのが始まりです。発足の原点は、初代会長さんが設立文の中で「会員相互の親睦だよ」と、記しています。会員皆が仲良く、いかなる時も「向こう三軒両隣」を大事に、助け合い協力し合って行こうとの気持ちが盛り込まれていると諸先輩から聞き及んでいます。

当町内会も少子高齢化が進み、町内会活動に色々な面で発足当時とは違った問題に触れることが多くなりました。70歳以上のご老人がいる家庭が40%を占めること、小・中学生がいる家庭が10%と伸びず、将来を考える時、如何に次世代に引き継ぐべきか悩みます。しかし、立ち止まっても居られないのが現実です。

年間行事も、ここ数年原点に戻り「親睦」を中心に考え、年初めの新年会・新年親子カルタ大会、夏のレクリエーション等、又老人クラブの皆様にも協力を願い、互いの行事に積極的に参加し交流を深めています。

転勤族のご家庭の皆様には、当町内会に住まわれたのも何かの縁、釧路に住んで楽しかったと思えるよう積極的に参加して頂き、役員もお願いし協力を頂いています。



2015/02/01

1. 元気で働き、明るく豊かなまちをつくりましょう。  
 1. きまりを守り、安全で安心な住みよいまちをつくりましょう。  
 1. 緑を育て、自然豊かなきれいなまちをつくりましょう。

1. 人にやさしく、心ふれあう温かいまちをつくりましょう。  
 1. 文化を高め、命を尊ぶ平和なまちをつくりましょう。  
 1. 郷土を愛し、世界に誇れるまちをつくりましょう。

みんなでつくろう ゴミのないまち きれいなふるさと

春の全市一斉清掃を実施します

「春の全市一斉清掃」は4月17日(日)実施予定となっています。町内会の皆様のご協力をお願いいたします。

- 道路や公園等の公共スペースの清掃です。
- 袋に入る大きさのゴミを収集して下さい。
- 自転車や古タイヤ、不法投棄物は収集しないで連絡して下さい。
- 集めたごみは、可燃ごみの収集日に、可燃ごみ収集場所へ出して下さい。
- 環境美化活動用袋(市連町配布)、又はボランティア袋を使用して下さい。
- (その他の透明・半透明袋の場合は「清掃ごみ」と記載して下さい。

町内会活動保険に加入しましょう

平成28年度「町内会活動保険」の加入申し込みを始めています。

町内会活動中の傷害や賠償事故に対応しています。安心して町内会の活動を進めるため、是非ご加入をお勧めします。

- 受付期間:4月1日～5月9日
- 保険期間:6月1日から1年間
- 負担金 :1戸60円/年
- 保険金額 障害～死亡・後遺障害 100万円  
 入院 1,000円/日、通院 500円/日  
 賠償責任～1億円まで(免責 1,000円)

会費納入表が出来ました

平成28年度版、町内会費納入表が出来ました。1月始まり、4月始まりの両方を用意しています。ご希望の際は事務局へお越し下さい。

— フラワーマスター認定講習会 —

認定講習会が7月24日「まなぼっと」で開催されます。関心のある方・受講希望者は4月15日(金)までに電話又はファックスで申込下さい。(釧路フラワーマスター花くらぶ 24-0513 まで)

今日 明日

日本は、少子高齢化が今後とも急速に進み、0～14歳人口は

現在の約1,600万人から、50年後には800万人に半減すると言われています。釧路市に

おいても、5年後には、現在より2,000人少ない

177,000人になると推計されています。一方、ニューヨーク市立大学のデビットソン教授は、

「子どもたちの65%は、大学卒業後、今は存在していない職業に就く」という衝撃的な研究結果を発表

学校・地域が協働して子育てを

釧路小中学校校長会 会長 大場 和典

表しています。

「このような大きく変化するこれからの時代を生き抜くためには、

- ①学び続ける力、②課題を見出す力、③チームで協力し解決する力

(対話力・企画力・実行力 等)、  
 ④困難に向き合い、乗り越える力等を育成する必要があると言われています。

含めてこれらの力を育成するため、今後授業を中心に改善を進めることになっています。そして、更に教育効果を高めるために、「地域とともにある学校への転換」を求めています。

「子どもは、家庭で育ち、学校で学び、地域で伸びる」と言われます。今後、育てたい子ども像や目指すべき教育ビジョンを学校と地域が共有し、協働して子育てを進めていきたいと思えます。町内会の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

◆◆◆◆ 主な行事予定 ◆◆◆◆

- 4月6～15日 春の全国交通安全運動
- 4月17日(日) 春の全市一斉清掃
- 5月14日(土) 市連町定期総会

次回の連町通信は6月25日発行です。



赤い羽根共同募金

連町通信は、赤い羽根共同募金の支援を受けて発行しています。